

# 我がふるさと・わが母校

第67回



新潟県立 三条東高等学校



新潟県立三条東高等学校長

須佐 尚子

本校の創立は、遠く明治四十三年にさかのぼります。地域の期待を担い、三条町立三条女子工芸学校として、三条女子尋常高等小学校に併設されるかたちで産声を上げました。その後、県立三条東高等学校、県立三条女子高等学校を経て、昭和二十五年県立三条東高等学校という校名に改められ、校舎移転し、現在に至っています。本年度、創立百周年を迎え、平成二十二年十月二十三日に創立記念式典を挙行しました。

今、本校は、誠実で自立して在る若人の育成を教育の目標に掲げ、生徒たちは、勉学に、スポーツに、各々の目標に向かって日々精励しています。

本校の前庭、校門を入れて右手に「誠実」の碑があります。その「誠実」を軸に、本校の教育目標を次のとおり定めました。

誠実で自立して在る若人を育成する学校

- 1 自尊感情に立ち、自他の心と生命を尊重する精神を涵養する。
  - 2 継続的に努力する気力・体力、課題解決能力を向上させる。
  - 3 確かな学力を定着させ、進路希望を実現させる。
- 具体的な指導は次に示します。

- 1 土壌を耕す  
↳ 自尊感情に立ち、自他の心と生命を尊重する精神を涵養する

- (1) 日常的・継続的な生徒観察と生徒理解
- (2) 緊張感と安心感を持たせる教育環境作り
- (3) きめ細かい配慮の上に立つ、毅然とした指導

2 太い幹を育てる

↳ 継続的に努力する気力・体力、課題解決能力を向上させる

- (1) 学習習慣の定着
- (2) 部活動での気力・体力の練磨
- (3) 課題を整理し、優先順位を見定め、逃げずに課題を解決し続けることによって身につく人間力の育成

3 果実を取獲する

↳ 確かな学力を定着させ、進路希望を実現させる

- (1) 基礎学力の定着と応用力の向上
- (2) 自己の人生を見通した上で、今あるべき姿を描き目標設定させるキャリア教育の充実
- (3) 生徒の個に対応するきめ細かな指導と、生徒の進路決定のためのプロたる指導の継続

目新しいものではなく、「不易」の事柄を、本校の実態に合わせて整理しただけのものです。

私は、「生徒に幸せになってもらいたい。」と、切に願っています。それには、経済的自立が不可欠です。それには、各人の進路希望の実現が不可欠なのです。ここで明言しておきたいのは、「人生は、人が決めてくれるのではない。生徒自身が、獲得しなければならぬ。」という事実です。そのためには、血の出る努力が要求されると思います。

ただ、本校には、生徒のために、本気で苦言を呈する先生方が控えています。奇麗事や甘い言葉だけが愛ではないと考えます。本年度、野球部が、県立高校として唯一、県四強に入ってくれたのがその果実の一つでしょう。何事も自己の練磨と捉え、頑張ってほしいと願ってやみません。

誠実に生きん  
三條東高校生徒の今



教師  
片岡 克教

本校は明治四十三年に町立三條女子工芸学校として創立され、幾多の変遷を経て大正十四年に県立三條高等女学校、昭和二十五年に県立三條東高等学校と改称し、現在に至っています。戦後も長く女子校としての歴史を重ねてきましたが、昭和四十九年に男女共学制となつて以降、次第に男子生徒の数が増加するようになりました。

また、旧校舎は三條市東裏館に位置しましたが、昭和五十七年に現在の三條市北入蔵の地に移転しました。現校舎は静かで恵まれた環境の中にあり、現在は全校で二十五学級、約一千名の生徒が在籍する普通科の大規模校となっています。

なお、今年十月二十三日には創立百周年記念式典を挙行するとともに、記念事業としてグラウンド照明設備や通路舗装、普通教室エアカン更新補助などを寄贈いただき、より一層の教育環境整備をおこなうことができました。

三條東高校の校風を最もよく表

しているのが「誠実」という言葉です。校歌の一節に「誠実に生きん 東高校われら」とあり、正面玄関前にも「誠実」の碑文が立っています。高校生として当然行うべき事柄全てに対して、誠実に一生懸命取り組んでいる生徒がとても多いのが三條東高校です。

毎年約三分の二の生徒が大学に進む進学校でありながら、同時に七割を超える生徒が何らかの部活動に所属して活動しています。大多数の生徒が伝統ある黒の制服をきちんと着用し、廊下ですれ違ふ来訪者や教職員に対して爽やかに挨拶をします。体育祭や文化祭、球技大会などの学校行事に対しては生徒会を先頭に全生徒が一生懸命



旧校舎

100年の伝統を引きつぐ



書道部は、書の甲子園で毎年入賞

命に取り組みます。来訪者の皆さんからも、東高校の生徒は挨拶がよくてとても爽やかだとの言葉をよくいただきますが、改めて素直で真面目な生徒が多い学校なのだと実感しています。

生徒の進路状況については、この数年来、約六五％が大学等への進学、約三〇％が専門学校への進学となっており、就職者は毎年十名程度です。このうち国公立大学進学者は二十名強にとどまっていますが、より一層の増加を目指して来年度より週あたり教科授業単位数を一時間増単することになりました。

一方、部活動については、各部門も好成績を収めており、野球部

が夏の県大会三位となったのを始め、陸上部と少林寺拳法部が全国大会出場を果たしました。文化部でも書道部が毎年連続で国際選抜高校生書展（書の甲子園）で入賞者を出し、吹奏楽部も二年連続で西関東大会出場を果たしました。特に駅伝女子については、今年十月の県大会で優勝候補の筆頭にあげられており、数年振りでの全国大会出場が期待されています。この記事が掲載される頃には結果が出ていないはずですが、今後とも文武両道を目指して努力する三條東高校の生徒にご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。



吹奏楽部は、2年連続 西関東大会出場

### 本校野球部について



野球部長  
齊藤 貴教

本校野球部は昭和五十二年創部、今年で創部四十三年目を迎えた野球部です。過去には平成五年秋季県大会でベスト4に進出し、北信越大会出場を果たしています。が、夏季選手権新潟大会ではベスト14が最高成績でした。

松坂監督と共に赴任して四年になりますが、まずは意識改革から取り組みました。勝利に対する欲と人としての「心」の二点の改革です。特に重きを置いたのが「人間性」の向上でした。「すばらしい選手である前に良き高校生であれ」を部訓として、日常生活の見直しから始め、挨拶や言葉遣いなど良き高校生としての「心」を磨くことに重点を置きました。また、練習では毎日のように「心」の成長が勝利につながることを言い続けました。

今年の夏季大会は準決勝で昨夏全国準優勝の日本文理高校に敗れましたが、県立高校として唯一準決勝まで進出することができました。しかし、その道のりは決して楽なものではありませんでし



心の野球を目指す

た。初戦を九回二死から大逆転でサヨナラ勝ち。その後も三試合中二試合が一点差の試合でした。劣勢でも焦らず、優勢でも奢らず、自分たちの野球を信じ続けて戦うことができました。やはり「心」の成長が大きかったと思います。それは、生徒が試合中もインタビューでも「気持ち」という言葉を連呼していたところに象徴されていたのではないのでしょうか。

創部初のベスト4ということで地域の方や学校も大いに沸いたと聞いています。今後も焦らず奢らず「心」の野球を目指していきたいと思えます。

### 三條東高等学校校歌



宮 柎二 作詞  
細谷 一郎 作曲

- 一、太陽の光あまねし  
太陽の光を浴びん  
誇りつつ学び  
歩巾をひろく  
青春に悔いは残さじ  
誠実に生きん  
東高校われら
- 二、太陽の光ゆたけし  
太陽の光を受けん  
友ありて語り  
師のありて問はん  
青春の心一途に  
明かに生きん  
東高校われら
- 三、太陽の光美しく  
太陽の光たゞ射す  
山と山白く  
行く川満ちぬ  
青春の泉湧きたち  
創意に生きん  
東高校われら  
(昭和五十一年十一月制定)

### 創立一〇〇周年にむけて



実行委員長  
羽生 好太  
(高30回生)

このたび創立一〇〇周年実行委員長をさせていただきます羽生と申します。同窓会への関わりはクラブの先輩から声をかけていただいたことが始まりです。高校を卒業し互いに会うことなくかなりの年数がたったのち、その先輩から気楽に声をかけてもらったときは本当になつかしく、また嬉しく思ったことを覚えています。やはり先輩、同期生、後輩を含め共に学生生活を送った時代は人生でも特別な時間であったように思いません。

東高は明治四十三年創立後女学校として推移し、その後男女共学となり私は男子の三期目となりますが学校体系の過渡期でもあり2つの校歌を習いました。それ故私達は同窓会でも前後の時代を繋ぐよう意識してきました。

一〇〇年の年月で学校環境は変化してもその校風は受け継がれていくものであり、この事業を期にさらに多くの皆さまに東高を見つめなおして頂き今後も支え続けて頂きたいと願っています。



**我が母校、三条東高等学校**

同窓会会長

加藤 一芳  
(高33回生)

新潟県立三条東高等学校は本年、百周年の大きな節目の年を迎えます。明治四十三年三条町町立三条女子工芸学校として創立してから何度か名称も変わりながらも二万六千人を超える同窓生を輩出してきた伝統校として新潟県立三条東高等学校は本年百周年を迎え、次なる百年に向かって進もうとしております。

良妻賢母の養成を担った旧制女学校といった位置づけから、共学校に編成替えになって久しいが今や男女比率もほぼ同等になりました。

学業においても国公立大学をはじめとした大学進学率も高くなり、駅伝をはじめとしたスポーツ部門や吹奏楽部など文化部活動にも大いに活躍され、特に本年は夏の高校野球では準決勝では強豪日大文理高にはやぶれたもののベスト4というすばらしい成績を残しております。

当校の同窓生の中には現在『龍馬伝』で西郷隆盛役で活躍されている俳優の高橋克美さんや、サス

ペンストドラマなどで活躍している女優の水野久美さんのような芸能界の他、多くの同窓生が新潟県内外で各方面で活躍しております。

同窓会（慕光会と称します）では毎年七月には募光会総会が開催されます。総会では前年度の事業報告・決算報告、本年度の事業計画・収支予算などを審議してその後は懇親会となります。例年八十人前後の参加者ですが、この会で懐かしい恩師や同窓生にお会いできることを皆様楽しみにしております。また、毎年素敵なアトラクションがあります。和太鼓の演奏、オペラコンサートなど毎年大変好評です。そして最後は全員で新旧ふたつの校歌斉唱で締めといたします。尚、同窓会組織の名称が『慕光会』というのは、旧高歌の中に『光を慕うて片時も』という一節からきております。

またこの近年は、会報誌の発行、同窓会の東京支部の再立ち上げ、ホームページのリニューアルなど同窓会の活発な活動をはかっております。

本年は百周年の節目の年です。我が校の輝かしい伝統を同窓会として次の百年につなげてまいりたいと思います。



**時代の要、それぞれの世代が責任ある行動を**

同窓会関東支部

佐藤 隆志  
(高29回生)

桜の下、紅葉の道、雪だるうがなんだろうが毎日自転車通勤した。商店街を抜け、五十嵐川の様々な橋を渡り、土手や田んぼのあぜ道、そして八幡様や本城寺、そして友達の家へ寄ったものだ。

昭和四十九年四月男女共学に伴い新たに男子八十四名が入学した、その内のひとりが私だ、まだ被服科もあり先輩方は全て女生徒でまさに女の園であった。校舎はとも古く屋根裏には鳩がいたり、かわいい中庭もある趣のあるものだった。

伝統があるのに妙に自由な校風が自分にとって大事な「LOVE & PEACE」と「みたくもないものづくり」を育て、おかげさまでデザイン業界でまだ稼いでいる。将来をどうするかは常に自

分だ、文句ではなく代案を出すことで参加する。それぞれの年代や地域で責任のある行動が求められている。前向きな気持ちでより良い時代を創造していかなければならない。

同窓会（慕光会）は様々な年齢層の役員達で構成されており、ますます内容のある会となっております。ホームページには写真も動画もどんどん増え、会報も年一回発行、その中で掲載されている学校の歴史を百周年を期に一冊の本にすべく編纂中です。  
<http://www.bokoukaicom>で随時ご報告します。

(広報委員 田中 実)



ホームページは、2010年リニューアル

# 地区県人会・郷人会だより

## ◎祝城下町新発田会 創設十周年記念としてふるさと訪問実施!!

◎ 築井 松治 会長

発足は平成十二年十月二十一日上野池之端文化会館において市等から多数のご来賓をお招きし、スター

トしました。そして本年十月めでたく十周年を迎えました。そこで、イベントとして十月三日〜四日「ふるさと訪問」を実施しました。

十月三日は天候に恵まれ、目白駅前集合、九時前バスに乗って新発田に向かい出発しました。

早速缶ビールやカップ酒等で喉を潤しながら、途中休憩を挟み、塩沢へぎ蕎麦で有名な田畑屋にて昼食、午後三時ころ市島邸見

学へ。市島邸は「豪農の館」として知られ、明治初期の住宅建築で簡素優雅、

庭園は緑と紅葉が美しい所でした。四時過ぎホテル摩周に到着、すぐに「美肌成分日本一」の湯にて汗を流しました。

いよいよ六時半から歓迎懇親会が開催され、市から片山吉忠市長、佐藤哲也商工会議所会頭、市島国子・坂井正副会頭の二名、巖昭夫市議会議長、星野幸雄副議長、市の各部から塚野・村山・森・新保・片桐の各部長、副部長が参加されました。

松川吉男監事が進行役となり、まづ築井会長が「発足時を思い出します」とても感無量です。十周年を迎え、ふるさと訪問が出来ましたのも市の暖かいご支援があればこそ心から感謝を申し上げます。」と述べられました。

次に片山市長から「ようこそ新発田へ。私が市長になり会議等で上京した際、新発田の郷人会が無くてとても寂しい思いをしていましたが、その思いを塚野さんや築井さんが酌み取ってくださりめでたく結成でき、

十周年を迎え、ふるさと訪問されましたことを大変嬉しく思います。」と挨拶されました。

続いて杉原幹事長から新発田会の十年の歩みを紹介し、引き続き築井会長から片山市長へ感謝の花束を贈呈しました。

そして、市島酒造様から寄贈された菰樽の鏡割りを掛け声高らかに言い、拍手喝采となりました。

次に巖議長のご発声で十周年を祝し、会及び会員相互のご健勝を祈念し、乾杯しました。

アトラクションに入り、安兵衛太鼓保存会の皆さんが郷土の香りを奏でた迫力ある演奏で会場を盛り上げました。いよいよ宴もたけなわ。郷土の酒で懇親を図りました。



市長へ花束贈呈



菰樽 鏡割り



安兵衛太鼓演奏模様

九時前、名残り惜しい中、佐藤商工会議所会頭の万歳三唱にて中締めとなり、宴会は終了となりました。

翌四日、九時過ぎに市役所を表彰訪問。市長中心に遠慮の無い質問にて懇談後ふるさと訪問、名所巡りへ。

新発田城三階櫓↓蔭谷虹児記念館↓米倉有機の里交流センター↓生産者との交流↓素晴らしい健康食にて昼食↓清水園↓市島酒造見学のコースで

事業訪問。午後二時半、楽しかったふるさと訪問も終了。新発田とお別れし東京へ八時頃到着。別れを惜しみながら帰途に着きました。このふるさと訪問には市から多大なご支援を戴きました。ありがとうございました。

（築井 誠一 記）



全員写真

# 新潟県立佐渡総合高等学校創立百周年記念式典・記念講演・祝賀会の開催

◎尾田 喜作 会長

○記念式典（十時～十時五十分）

平成二十二年十月十六日(土)、佐渡市佐和田のアミューズメント佐渡にて新潟県立佐渡総合高等学校創立百周年記念式典が行われた。

式典には、泉田裕彦新潟県知事（代理）、伊藤正一新潟県教育委員会委員長、鷺尾英一郎衆議院議員、高野宏一郎佐渡市長を始め多数の来賓を迎え、同窓会員、学生二百余名によ



感謝状の贈呈 中川（左）、川村（右）の両氏

り盛大に行われた。

式典では開会式の辞、国歌斉唱から始まり、山岸耕一郎学校長が式辞で明治四十三年五月佐渡郡新穂村、畑野村組合立佐渡農学校として誕生して



盛大に鏡開き

から現在の県立佐渡総合高等学校までの沿革概要が述べられた。次に川上克己百周年事業実行委員長が記念事業について挨拶。来賓祝辞の後、百周年事業の推進に多大の貢献をされた川村敏夫様、中川信夫様に感謝状が贈呈。

そのあと、川上実行委員長から山岸学校長に記念事業目録贈呈。生徒代表（計良優尚）から喜びの言葉が述べられて閉会。

○記念講演（十一時～十二時十分）

記念式典のあと、引き続き同会場

で講師として浅島誠（佐渡市出身、前東京大学副学長、現在（独）産業技術総合研究所フェロー兼幹細胞工学研究センター長）さんから「次世代を担う若者へのメッセージ」と題して記念講演が行われた。

講演では特に学生に対し、佐渡の現状把握、分析による今後のあり方、考え方などについて教えられた。また、自然観察からの分析、佐渡の自然を愛する考え方今後のあり方について、統計などを用い、わかり易く話された。専門の発生物学について蛙と人の「発生のしくみはある段階までは同じ」ということをスライ

ドで解説してください。また、朱鷺の住んでいた新穂の生椿（はえつばき）集落に自生する雪椿は原種であること、また佐渡には



記念講演の浅島 誠先生

世界でも貴重な生物「佐渡マイマイカブリ」が生息して居ることなど、自然観察をされて研究されていることがよくわかる貴重な講演会でした。

○祝賀会（十三時三十分～十五時）  
会場を両津やまきホテルに移して祝賀会が行われました。  
猪股耕作同窓会副会長の開会のこ

とばで祝賀会が開会。  
中山道夫新潟県高等学校長協議会代表（新潟県立長岡高等学校長）や中野洸、中川カヨ子新潟県議会議員の祝辞をいただき、鏡割り。  
尾田喜作同窓会東京支部長の音頭により乾杯、祝宴に入った。  
鬼太鼓舞など賑やかに盛り上がる。は親親の宴で賑やかに盛り上がる。  
坂田金正同窓会顧問の発声で万歳三唱。川上実行委員長の謝辞。計良進PTA会長の閉会のことはで目出度く百周年のセレモニーが、とどこおりなく終了した。

（佐渡総合高校同窓会東京支部長

尾田 喜作 記）

# 第八回稲刈りツアー&朗読コンサート鑑賞

◎池田 孝一郎 会長

☎〇四五―九八一―二九七五番

# 第十二回佐渡高校同窓会・関東支部総会・懇親会が開催

◎藏田 健三郎 会長

首都圏えちご蒲原会恒例の稲刈りツアーは、今回が八回目。県人会百周年行事に合わせて九月二十五日、二十六日と例年より遅くした。

朝早く池袋芸術劇場前を大型観光バス二台、総勢八十三人で出発。ほぼ予定通り吉田地区の現場に到着した。早速昼飯。今年はコシヒカリ新米が間に合い、おにぎり、ナス漬、キュウリ漬、豚汁に舌鼓。次は梨刈りに行った。一個ずつ収穫後、岩室温泉「ゆもとや」へ。



昔取った杵づか

ロデユースする朗読コンサートを夢見ながら眠りにつき就く。

九月二十六日(日)朱鷺メッセへ。照明に照らされた舞

台中央には首都圏側、ふるさと側合わせて六十人のコーラス隊。蒲原会役員三名も参加している。アナウンサーの朗読、その中のシーンが私達の脳裏に浮かんで消える。コーラス隊の歌が始まり、母なる声音、美しい歌声は、忘れていた幼い頃を思い出させてくれる。

ラストは場内全体が「ふるさと」の大合唱となり、ほぼ満席の観客席から鳴り止まない拍手の中、「ああよかった」「癒された」の気持ちに満たされた。

(ツアー実行委員長

翌日池田会長が責任づ

遠藤 哲夫 記)



新任の挨拶をする藏田健三郎氏

暑さ寒さも彼岸までの諺どおり、素晴らしい秋晴の好天気恵まれた九月二十六日、上野公園に隣接する東天紅にて、第十二回佐渡高校・関東支部の同窓会が開催された。

日にわたり、新潟市の朱鷺メッセで県民が集う大交流会が開催された影響で、佐渡の幹部(大半が佐渡高校の卒業生)が新潟へ応援に駆けつけたことになった。

総員一四〇名で、最高齢者は今年で九十歳になる人から、平成生まれの若人も集まった。

今年には役員改選の年で、新支部長に藏田健三郎氏が就任した。藏田氏は真野町出身で七十五歳。

今年には東京新潟県人会一〇〇周年記念の年で、二十五・二十六日の二

記念講演は北里大学医学部長の和泉徹先生(畑野町出身)をお招きして、「心不全を予防する」という中高年には興味のあるお話であり、一同静かに聞き入っていた。

アトラクションは、山登靖さんのライブを皮切りに、飯山弘氏と石橋博氏による相川の春駒(はりがま)、そして女性ユニット・花のルサカなどが出演した。

最後に、若波会による佐渡民謡「両津甚句」「相川音頭」「佐渡おけさ」などが披露され、フィナーレは「佐渡おけさ」の大輪踊りが繰り広げられた。

(広報 本間 壯平 記)



練習の成果を今

# 第五回良寛に学ぶ会

◎小林 保廣 会長



講師の萬羽啓吾氏

熱心な良寛ファンが集う、学ぶ会も五回目を迎えた。巷に幾多ある良寛遺墨だけに、没後一八〇年を経過した今、趣味としての探求アプローチも限りなく存在する。今回は、神田神保町で古硯・古玩具を扱う骨董商、萬羽啓吾氏を講師に迎え、実物の書を肉眼で拝観させて頂きながら、初期から晩年への変遷を学び「臨書観とその創作」を勉強した。

文化的価値が益々高まり、本物を持つについても、なかなか名乗りを上げない良寛遺墨を、ガラス越しでなく、至近距離から肉眼で目の当たりにしている、良寛の姿と息使いが聞こえそうが集まった良寛ファンは興奮気味。講師は商売として書を扱う立場から、真価を決める鑑定が学者を超えるレベルにある。本物はどの部分で実証可能かを詳説し、理論的に展開する話法を操る達人である。即ち文人墨客・良寛は、詩人・ゲーテの感性と、ルノアールの絵画的素養で、墨の濃淡で書を表し、それらが今こにあると説く。

当日の会場には学ぶ会の常任講師・内藤久吉氏も並行解説。先入感持参の来訪者には、諸説混在の貞心尼・良寛の親交を「私はその時分に生きていなかったすけ」と小説発行元の意図をやりわりと否定する手法を披露、二講師を抱く、贅沢な勉強会となり、茶菓として供された、「貞心尼団子」こと、わしまの、おこわ団子も美味であった。

(東京寺泊会 橋本 寛二 記)

# 雨の中の佐渡おけき 東京相川会がふくろ祭り十二回目の出演

◎島田 治男 会長



西口公園ステージ前での演舞

体育の日につながる三連休初日の十月九日、東京相川会は若波会を中心に東京新潟県人会おけきクラブ等併せて七団体九十余名で「第四十三回ふくろ祭り踊りの祭典」に出演し降りしきる雨をもとせず華麗に佐渡おけきを舞いました。

芸術劇場前の池袋西口公園広場では雨の中にもかかわらず、林立する傘の中の大勢の観客に囲まれ輪踊りを披露しました。

輪踊りの後半に入ったところで降りしきる雨は無情にもますます激しくなり、着物の袂に水が溜まる踊り手も現われるほどでした。

生演奏の悲しき、翌日二か所での出演が予定されており楽器の損傷が心配されたため、引き続きの

池袋駅西口前での佐渡おけきパレードは中止のやむなきに至りました。

池袋駅西口は歩道が新装され、ここでのパレードを楽しむにしておりますのでとても残念でしたが、次回への楽しみとしたいと皆で話し合いました。

恨みの雨ではありませんが、日頃の鍛錬と今回出演のための二回にわたる合同練習の成果を十分に発揮して、しっとりとした情緒のある踊りで観客を魅了出来たと思います。

十月六日に発表された「金を中心とする佐渡鉦山の遺産群」の世界遺産暫定一覧表への単独追加記載決定のニュースもあり全員の意気も大いに上がりました。

(事務局 前田 康久 記)



観客も林立する傘の林の中で

# 第十六回「東京津川会」総会開催

◎加藤 喜七 会長

十月十日(日)八重洲富士屋ホテルにて午後一時より総勢八十五名の方々のご参加で開会した。

総会では役員改選に伴い加藤喜七会長のあいさつの後、鈴木節子幹事長の留任報告、一部執行部の改選で新たな「東京津川会」の運営体制を確立し、「故郷と在京のかけ橋を育む郷土愛を、より強く推めながら合理的に実行できる体制で、望みたい」と強い意志が伝わっていた。



あいさつ 加藤会長

懇親会

の冒頭の

神田阿賀

町長の挨拶では

「今年の

夏の猛暑

で、農作

物の被害

が心配で

ある事や、冬の到来で除雪対策、住民の生活防衛等について」のお言葉

を頂戴し、来賓の方々の祝辞の後、乾杯。

会が進むに連れ会場内は熱気に包

まれ、どの顔にも満足感漂う姿が見

られた。最後は地元民謡「港甚句」

の曲に合わせて、大きな輪になり舞っ

ていた。

初めて参加された方々から「故郷

と一体感があり本当に楽しかった」

と、その場で会に入会された方の満

喫された姿が印象的であった。

(古川 義範 記)



会場風景

◎田中 正芳 会長

# 平成二十二年度「ふる里ツアー」の開催 東京やまと会

東京やまと会の総勢十三名は、平成二十二年十月九日の朝上野精養軒を出発、関越トンネルを抜けるとなると雨も上がっていた。湯沢で美味しい「新米コシヒカリ」の昼食、途中兼継ゆかりの関興寺を参拝、十二峠を越え清津峡へ向かう。こうして恒例のふる里ツアーが始まった。

大溪谷も安心して観賞出来るトン

ネルの見晴台からは、柱状節理の美

を堪能することが出来た。そして少

し色づき始めた魚沼スカイラインか

ら稲刈りも終了した、懐かしい魚沼

平野を見下ろしながら、宿泊先のサ

イクリングターミナルへ到着した。

夜は井口市長さんを始め南魚沼市

の皆さんと、銘酒八海山を頂きなが

ら懇親し交流を深めました。

翌日は、八海山麓の「トカトン窯」

を訪ね、仙人のような生活ぶりとお

磁器を拝見、水無溪谷をも散策しま

した。

いよいよ熱気球の上がる「八色の

森市民まつり」会場へ到着。「ダン

スフェステバル」のステージやフ

リーマーケットの「テント村」等々

を巡りました。そして懐かしい人

達との出会いと、盛り沢山のお土

産を手に懐かしいふる里を後にし

ました。

最後に、歓迎して頂きました市長

さんを始めとする皆様へ、深く感謝



東京やまと会 ふる里ツアー

(東京やまと会事務局)

上村 勇雄 記

# 行く秋を惜しみ太鼓轟く歌舞伎町

◎池田 孝一郎会長

☎〇四五―九八一―二九七五番

東京えちご巻町会が協賛参加してから十六年、首都圏えちご蒲原会が加わって物産販売を担当、両会が合同実行委員会を組む現在の形になってからでも八年になる。

その間、いつも必ず上京して来た越王太鼓(巻)は、結成二十周年を迎え、町の文化会館で記念イベントを成功させたばかりだ。

十月十六日(土)。

今年には山添正文リーダーを筆頭に男女十二人がやって来た。その後に西蒲区役所(新潟市)、JA越後中央農協、岩室温泉観光協会の職員が計十一人。



越王太鼓 (ベベ広場)

「どうもお疲れさん」「今年もよろしく頼むね」、殆どが顔なじみになってきているだけに、蒲原会、巻町会の役員たちとの挨拶も気易い。「二十周年やっただけに勢いが違うね」と、

私も声をかけ、山添リーダーと握手した。

歌舞伎町：と聞いただけで怖いイメージを抱く人が多い中で明るい町づくりをアピールしようとのことまで二十九回、継続の中心になって来たのは歌舞伎町商店街振興組合で、その努力を多としなければならぬが、その関わりの中でふるさと新潟をこのまつりに持ち込んだ先代の巻町会会長、故佐藤与三郎さんの抜群のアイデアも思い出されていることだ。

正午過ぎ、定刻の十二時半になる前に今年もまた少々フライング気味に物産販売スタート。太鼓はベベ広場とシネシティ広場でそれぞれ演奏。

新パフォーマンスも取り入れて前進充実を披露した。長かった暑い夏の後にはわずかに姿を見せてくれた秋が、太鼓の轟きの中でたゆたっていた。

(池田 孝一郎 記)

# ふるさと越路会第十六回定例総会開催

◎酒井 仙吉会長

十月十七日(日)赤坂ANAインターコンチネンタルホテルに於いて越路会定例総会が開かれた。会場には来賓としてふる里から長岡市森市長、大野副市長、市議会議員、支所長、地域区長、総代、町内会長、新潟味のれん平石社長、総勢二十名、在京からヨネックス取締役会長米山宏作氏、名誉副会長三波豊和氏、朝日山酒造関東支店長伊藤邦良氏、東京新潟県人会会長代理廣川副会長の臨席があった。

定刻十三時開会。最初に酒井会長のあいさつに続いて定例総会議事に入った。議題第一号二十一年度報告・決算が承認。第二号議案も原案通り



越後酒屋唄会の皆さん

拍手で承認され総会は終了した。続いて来賓紹介、代表あいさつがあった。今回は越路町からアトラ

クシヨン「越後酒屋唄を歌う会」の総勢四十五名の皆さんが会場内で四十五分。混声合唱の熱唱があった。アレンジされた曲目、見事な合唱は圧巻であった。



—あいさつ— 米山名誉会長

懇親パーティに移り遠慮のいらぬ会場内は和気藹々であった。宴の途中、森市長が会場でのあいさつの中で「来年は友好都市のハワイ・ホノルルに於いて日本の花火を打ち上げます、是非大勢の皆さんで参加を」と呼び掛けがあった。宴も会員のお楽しみ抽選会に移り三波さんが登場。当選が読み上げられるたびに一喜一憂であった。抽選会の後は恒例の盆踊り。全員が踊り、ふる里に思いを馳せた。

十六時、「また来年元気で逢いましょう」の言葉でお開きになった。(本部広報委員会)

# 祝「新潟下越連合」創立十周年総会・懇親会

◎佐藤 知晴 会長

上野公園に入ると紅葉には早いが木の葉には微かな色彩が感じられる日曜日、上野精養軒に向う先々で法被姿のイベントの催しで人混みで賑わっていた。十月二十四日正午より精養軒にて大勢のご参加を頂き、第十回

「新潟下越連合」総会、懇親会を開催。新潟県人会一〇〇周年に比べれば、ほど遠い歳月だが、新潟の北部に位置する郷人会の集積連合帯だ。

佐藤知晴会長の挨拶、続いて初代会長横野寅夫現名誉会長の挨拶の中で「十五年続いた県北三二を解散し、平成十二年九月に「新潟下越連合」として発足した組織である旨のお言葉を承り、来賓として廣川高志県人会副会長より



あいさつ 佐藤会長

ご挨拶を頂き、県人会一〇〇周年記念の内容、東京鹿瀬会の方が抽選で車が当たった事など

笑を浮かべながら語っておられた。

乾杯の音頭は川村敏夫県人会副会長、一言コメントの中に一〇〇



女性委員会、おけさクラブの皆さん

周年祭開催の思いを馳せながら、二日間四万人の参加があり交通手段及び安全に細心の注意を払ったが、お陰様で無事終了した事の安堵感を感じさせる言葉だった。「新潟下越連合」の会合に県人会役員の方々も多く参加された関係から、県人会一〇〇周年の延長のように盛り上がり、県人会委員の女性十一名による「佐渡おけさ」「相川音頭」を披露。カラオケには次から次と熱唱が続き、あたかも「のど自慢」大会の雰囲気。各々が自慢の美声に酔い痴れながらあつという間の楽しい一時を過した。

(古川 義範 記)

## ● 思い出写真館⑥7 ●

### 青年部の船出

青年部が発足して初の大きなイベントでした。青年部の船出と言う事で屋形船による納涼会を企画しました。いやあ～皆さんお若いですね。前列左から2人目が私です。

常務理事 小林 英典 (初代青年部長)



青年部納涼会 平成5年8月22日

トピックス

## 全国中学校体育大会で

### 新発田市本丸中学校が優勝

全国中学校体育大会（八月二十二日～二十五日・広島市）で新発田市の本丸中学校（男子）がバスケットボールの部で二昨年に次ぐ二度目の優勝を飾った。

そして、この優勝メンバーの中に城下町新発田会の会計委員をしておられる築井誠一さんのお孫さんが入っており、大活躍されたとのことである。

この情報は祖父に当たる築井さんご自身からもたらされたものだが、何と言っても全国制覇であり、しかも築井良知選手は、チームメートの金子大希選手とともに大会優秀選手



大活躍の築井選手（写真提供：新潟日報）

（ベストファイブ）にも選出されたということ、重ね重ねのおめでたとなった。

富樫英樹監督が「佐野西、津軽戦ではともに、一点差という厳しい戦い。選手たちは我慢に我慢を重ねて頑張ってくれた」と語ったように、決勝戦（対筑紫野中・福岡）も残り四分で三点差。その窮地をセンター・築井良知君がリバウンドをもぎ取ってシュートを決め、69対63と勝利をもたらした。

なお女子の鳥屋野中学も堂々の三位に入っており、本県勢の活躍が光っていた。

トピックス

## 創立百周年記念

### 「写真で見る大交流祭」展示開催

東京新潟県人会百周年記念事業のメインイベントは、九月二十四日（金）の記念植樹で始まり、九月二十六日（日）大交流会を最後に、大盛況のうちに幕を閉じた。この全行程の記録写真を記録撮影PT（六人）で、撮影した。

この写真を十一月二十九日（金）～十一月二日（火）の五日間、県人会館三階会議室で展示（約三百五十点）。同時期に開催された第十二回作品展と併せて、大勢の人々が来場、あの感動をもう一度味わうように、

この写真を十一月二十九日（金）～十一月二日（火）の五日間、県人会館三階会議室で展示（約三百五十点）。同時期に開催された第十二回作品展と併せて、大勢の人々が来場、あの感動をもう一度味わうように、



「ほら、これこれ…」と、感動が蘇る

◎東京与板会の歴史を教えてください。

◎昭和二年発足

初代会長 岡田 博

医学博士(故人)

名誉会長 井伊 英

子爵(貴族院議員)／江戸時代最後の与板城主／故人)

◎昭和十八年 休止

◎昭和三十四年 再発足

二代目会長 小川 又一(故人)

◎昭和五十二年

四代目会長 諸橋 義雄

顧問 佐藤保三郎

キリンビール社長(故人)

石黒 武雄

第二製薬会長(故人)

◎平成十六年

八代目会長 丸山 幹夫

◎平成二十年

九代目会長 大谷地 紀(現会長)

ここで東京与板会と交流を深めている堀切与板会を、紹介いたします。

昭和十九年学童集団疎開で約

二〇〇名(男一三〇名／女七〇名)

昭和七年〜十年生れの東京都葛飾

区堀切小学生が集団で与板町に居

住した思い出を、堀切与板会」とし

て立ち上げ現在にいたっており、東京与板会の総会に毎回七名〜八名の方が出席していただいております。

東京与板会の総会は二年毎に開催され今年には第十九回目となり五月二十三日御徒町の池田屋の七階で行いました。

平成十五年度民謡日本一に選ばれた町出身の柿倉先生も佐渡おけさを

はじめ3曲

歌っていた

だき当日は

長岡市当局

の方々をはじめとして

約一〇〇名

のご出席で

大変盛況で

終了いたしました。

堀切与板会の総会も二年毎で六月に堀切菫蒲園の中で行われ東京与板会からも七〜八名毎回出席しております。

また、地元与板町の中心にある公園に堀切公園の菫蒲を株分けしていただき、毎年みごとな花を咲かせております。

◎地元与板町のことを少しご紹介ください。

昨年のNHK大河ドラマに登場した直江兼継の居城としていちやく有名になり昨年度与板町への観光客は大変多く話題になりました。

特にお船の方は与板生れの与板育ちです。

第十八回の総会(平成二十年)には原作者の火坂先生、押絵の中村麻美、先生(女性)にお越しいただき講演をしていただき大変好評でした。(その時の写真／右から与板会幹事長桑原氏／中央が中村麻美さん／左が現会長大谷地氏)

与板町は平成十八年一月元旦長岡市と合併し現在に至っております。(合併前の人口は約七、四〇〇名)

◎九代目 大谷地会長のプロフィールをお聞かせください。

昭和十五年生れ(七〇歳)

昭和三十四年四月(男二人、女七

人)で長男の兄を

除いて二番目〜九番目まで

すべて与板小学校

・中学校・与板高等

学校を卒業してま

す。多分、兄弟八人が同じ小・中・高を卒業と言う例は新潟県でも少ないのではないのでしょうか。

昭和三十四年四月大学入学と同時に上京し、今日まで五十二年間首都圏に住んでおります。サラリーマン時代(二十二歳〜六十四歳)このほか三メン(ラーメン・うどん・日本そば)が好きで全国出張の折(営業時代)よく食べ歩きました。

東京与板会の総会もややもするとだんだん参加人数が減少する傾向が強くなるとか増大するよう四十年代・五十代に声をかけ基盤を強くしたいと考えております。

(本部広報委員 中村 信也 記)

会長 大谷地 紀さん

お越しいただき講演をしていただき大変好評でした。(その時の写真／右から与板会幹事長桑原氏／中央が中村麻美さん／左が現会長大谷地氏)

は原作者の火坂先生、押絵の中村麻美、先生(女性)にお越しいただき講演をしていただき大変好評でした。(その時の写真／右から与板会幹事長桑原氏／中央が中村麻美さん／左が現会長大谷地氏)

と合併し現在に至っております。(合併前の人口は約七、四〇〇名)

◎九代目 大谷地会長のプロフィールをお聞かせください。

昭和十五年生れ(七〇歳)

昭和三十四年四月(男二人、女七

人)で長男の兄を

除いて二番目〜九番目まで

すべて与板小学校

・中学校・与板高等

学校を卒業してま

す。多分、兄弟八人が同じ小・中・高を卒業と言う例は新潟県でも少ないのではないのでしょうか。



中央 中村麻美先生を囲んでの懇談 左が大谷地会長

# 市町村だより あれこれ

## 新潟県下の市町村広報その他から⑨7

### APEC「新潟宣言」

「APEC（アジア太平洋経済協力会議）ジャパン2010」の食料安全保障担当大臣会合が、十月十六日（土）、十七日（日）の両日、新潟市・朱鷺メッセで開かれ「新潟宣言」を採択して閉幕した。

そもそもAPECとは、アジア太



APEC新潟会合（新潟市・朱鷺メッセ）（写真提供：新潟日報）



平洋地域の  
二十一の国  
と地域が参  
加して国際  
間の協力を  
話し合う会

議であつて、これまで貿易投資の自由化・円滑化、経済、技術の協力、テロ対策、感染症対策、自然災害対策等々幅広く諸問題を取り上げて来た。しかし、食料安全保障対策が担当大臣によって討議されたのは初めてのことである。

アジアという文言が冒頭にあることから、ついアジア地域だけを頭に描いてしまいがちだが、次に太平洋という広がりを持つことによつて、アメリカ、カナダ、メキシコ、チリ、ペルー、オーストラリア、ニュージーランド等々も含まれることになり、当然のことながら中国、韓国、ロシアなどもその一員となっているわけ

で、世界最大の地域協力の枠組みとなつているわけだ。

今回の新潟会合では、食料の安定供給を基本的な重要テーマとして話し合い、生産力増大のための技術開発や人材の育成、地球温暖化への対応などが真剣に討議された。

その一方で海外資本の進出で地域住民が農地を奪われるケースも発生している現状が訴えられ、「責任ある農業投資」のルール化が求められた。

こうして、十七日にはこれらを踏まえた行動計画が承認され、情報共有のための共同研究や学術会議の開催などを取り決めた上で食料生産の拡大と農産物貿易の円滑化を図る「新潟宣言」が採択された。

地球人口の増加は、二〇五〇年時点、食料生産量を現在の七割増にしなければならぬと言われている。この見通しは重く、十一月十日から十四日にかけて横浜市で開かれる（本誌発行時点では終了している）首脳会議にも強く反映されて行くはずだ。

### 一等米比率の減少全国最大

そんな中、米どころ日本一を誇る新潟県産米の一等米比率が今年のはドカンと落ち込んで、なんと前年比で七十一ポイント減少の十九・七%と全国で最大の下げ幅を示したことがわかった。

農林水産省がまとめた（十月二十日）全国の検査結果によると、全国平均でも前年比十八・六ポイント減少の六十四・四%となり、二〇〇〇年以降で最低となったが、新潟県の下落幅のみが際立って大きくなっている。（他に岐阜県の六十三・七ポイント、鳥取県の五十三・一ポイントが大きい、主産地の東北、北陸地方で三十ポイント以上の下落幅を記録しているところはない）

これは、記録的な猛暑の影響で栄養分が行き届かず、ちゃんと整粒になりにき



記録的猛暑の影響は...

れない未熟粒が多くなった……と見られていたのだが、それにしても全国的な猛暑の中で、とりわけ新潟県にその影響が強く出ているのはなぜなのか。

北陸農政局農業課の見解は「夜の気温が他県に比べて高く、日中との寒暖の差が少なかった」ことを挙げているが、新潟県の農産園芸課では「ほかに降雨量の差など複合的な原因があるのではないか」としており、対策会議を立ち上げて、さまざまな角度から分析、検討を進めて行くことになった。

もつとも、精米をしなければ味にそれほどの差はないとも言われているが、生産農家への影響はどうか。この状況を受けた農林水産省が二〇一〇年の産米価格の算定に二等米の割合や価格を含めることを検討、二月にはその結論を出すとしているが、全国一律の算定に対して新潟県生産者の減収がどうなるのか…、戸別補償交付金の算定は？

### 中越地震を忘れるな

中越地震から六年が過ぎた。さきの中越沖地震から三周年の追

悼式が柏崎市などで行われたことをお伝えした(九月号)が、こちらはもう六年になる。

二〇〇四年十月二十三日、震度7の激震が長岡市川口地域を震源地として近隣市町村一帯を襲い、死者85人、重軽傷者4795人、全壊戸数3175棟、損壊住宅は12万棟以上に及んだ。全村避難した長岡市山古志地域をはじめとして甚大な被害を受けた各地域の爪痕は完全に癒えたわけではない。これまでも道路、河川、砂防など公共土木施設に1293億円、上下水道に295億円、農地や農業用施設に341億円、養鯉、畜産の施設復旧におよそ19億円等々が投入され、なお本年度末を目処に策定中の中越地震第三次復興計画が進められている。



感謝の気持ちで歌声に(山古志地域)(写真提供:新潟日報)

震発生時刻の午後五時五十六分に合わせて黙祷が捧げられ、全国からの支援に対する感謝の合唱「ありがとう」が歌われ、キャンドルの光が想いを共にする人々を照らし続けた。

そして、長岡市のがおか市民防災センターでは、復興祈念フォーラムが開かれ、泉田知事、森長岡市長らが今後の取り組みについて発言し、会場に集まったおよそ二百人の人々とともに残された課題を確認した。

### 日本文理、選抜大会へ前進

さて、話題は一転して野球になる。「春は選抜から」と言われる来春の選抜高校野球大会(甲子園)への最大の関門となる北信越高校野球大会が十月二十三日(開会式は二十二日)から富山市民球場ほかで行われ、新潟県からは日本文理、佐渡、北越の三校(秋季県大会の上位校)が出場した。

五県十六校で争われた対戦結果は日本文理高校が、富山一高、松商学園、遊学館高校を破って決勝戦に進出、佐渡高校(対佐久長聖高校)と

六周年と  
なつた十月  
二十三日に  
は長岡、小  
千谷、魚沼  
三市などで  
追悼集會が  
開かれ、地

追悼集會が  
開かれ、地



準Vで選抜へ前進(写真提供:新潟日報)

北越高校(対敦賀気比高校)は一回戦で敗退した。

決勝戦は、石川県の金沢高校と日本文理高校の対戦で行われ、日本文理は金沢の本格派右腕・釜田投手に6安打10三振の2点に押さえられた。スコアは4対2、惜敗の準Vである。

しかし、北信越地区からの出場枠は二校となっており、これまでの実績からも日本文理高校の選抜大会出場はほぼ確実と思われる。

選考委員会は来年一月二十八日、組み合わせ抽選会が三月十五日。大会は三月二十三日から甲子園球場で行われる。(広報 池田 孝一郎)